

# 財源1000億円超不足

## 新国立 2520億円で契約へ

二〇二〇年東京五輪・パラリンピック大会の主会場になる新国立競技場(東京都新宿区)の建設で、文部科学省などと施工予定のセネコン二社が、総工費二千五百二十億円で契約する方針を決めたことが分かった。基本設計時の千六百二十五億円から約九百億円膨らんだが、めどが立った財源は、国の税金(国費)など五百億円程度。文科省が都に負担を求める五百億円やスポーツ振興くじの売り上げを活用しても、当面見込めそうな財源は合計約千四百億円で、一千億円以上が不足する。(山口哲人、沢田敦) ③核心 ④関連 ⑤社説 ⑥面



新国立競技場のイメージ=日本スポーツ振興センター提供

文科省と、所管する事業主体の日本スポーツ振興センター(JSC)は月内にも、大成建設、竹中工務店と正式合意し、七月上旬までに契約する。屋根を支える二本の巨大アーチなど基

本デザインは維持する。着工は予定通り今年十月の方針。ラグビーワールドカップ(W杯)の開催半年前に当たる、一九年三月の完成を目指す。デザインの実現性など見

通しの甘さから大幅なコスト増となったことに、批判が高まるのは必至だ。政府は財源として国費、スポーツ振興くじ「toto」の売り上げの5%、都

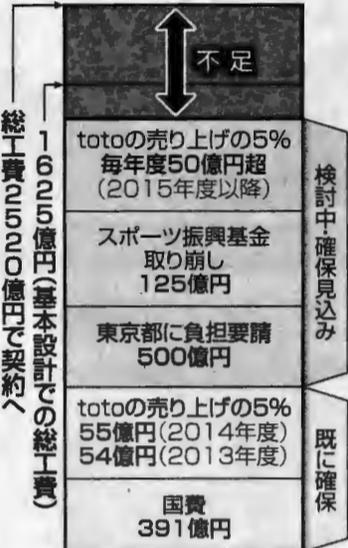
分は、総工費の枠外の解体費なども含め、計三百九十一億円を充当。totoは一三年度に開運法が改正され、毎年度の売り上げの5%(年間五十数億円)を建設費に投入する。一三、一四年度分で計百九億円で、これらを合わせ、現時点でめどが立っている財源は計約五百億円にすぎない。

財源が大幅に不足する中、文科省は都に五百億円の負担を要請。契約締結後、都との協議を本格化させる。今月二十九日には東京五輪大会組織委員会の調整会議が都内で開かれ、文科省はこの席上、総工費の増額について、組織委の森喜朗会長や東京都の舛添要一知事に報告する。

この他、JSCが選手強化などのために使う「スポーツ振興基金」の政府出資

## 開閉屋根別に100億円超

文部科学省が検討する新国立競技場の財源



### 資材・人件費 高騰の懸念も

政府とセネコンが合意した二千五百二十億円には、設置が五輪後に先送りされた開閉式屋根の費用は含まれない。政府関係者によると、屋根の設置には別途、百数十億円が必要だが、どこが負担するかや財源は未定という。他にも、消費税増税や物価上昇、東日本大震災の復興需要などによる資材費や人件費の高騰が続けば、費用はさらに膨らむ。難工事が予想される巨大アーチでも追加費用が発生する可能性がある。

政府とセネコンが合意した二千五百二十億円には、設置が五輪後に先送りされた開閉式屋根の費用は含まれない。政府関係者によると、屋根の設置には別途、百数十億円が必要だが、どこが負担するかや財源は未定という。他にも、消費税増税や物価上昇、東日本大震災の復興需要などによる資材費や人件費の高騰が続けば、費用はさらに膨らむ。難工事が予想される巨大アーチでも追加費用が発生する可能性がある。

東京の舛添要一知事は二十四日午後、報道陣の取材に「できるだけ広くみんなで議論した方がいい、など言いたいことは全部言っ

て、ボールはもう投げている。受け取って行動するのは国」と強調。「答えを正しい協力ができるか考えた」と話した。

財源が大幅に不足する中、文科省は都に五百億円の負担を要請。契約締結後、都との協議を本格化させる。今月二十九日には東京五輪大会組織委員会の調整会議が都内で開かれ、文科省はこの席上、総工費の増額について、組織委の森喜朗会長や東京都の舛添要一知事に報告する。

この他、JSCが選手強化などのために使う「スポーツ振興基金」の政府出資

財源が不確実なまま見切り発車した巨大な事業のツケは、都民や国民に回される懸念が強まっている。

だがセネコン側は今年三月、三千億円超の見積もりを提示。アーチ構造がコストを押し上げた。文科省は、開閉式屋根の設置を五輪後に先送りし、八万席の観客席の一部を五輪時は仮設にするよう計画を変更した。建築家の槇文彦氏はアーチがコスト増大の原因だと見直しを訴えた。政府関係者によると、見直す

東京の舛添要一知事は二十四日午後、報道陣の取材に「できるだけ広くみんなで議論した方がいい、など言いたいことは全部言っ

て、ボールはもう投げている。受け取って行動するのは国」と強調。「答えを正しい協力ができるか考えた」と話した。

五月の基本設計時には規模が縮小され、千六百二十五億円とされた。

### きよの紙面

- サケ流し網漁 口禁止 7
- 住宅扶助減額で混乱 13
- 「らしさ」が復活 8強 20
- 親子で学ぶ 7
- オムライス日本一 26 27
- 大学の権力批判つぶし

証券 10 11 スポーツ 20 21  
暮らし 12 13 ほっとなび 22 23  
小説 13 地域 24

テレビ・ラジオ 15~18

### 懸案アーチ そのままに

新国立競技場の総工費は当初、千三百億円の見込みだった。デザインは二〇一二年十一月の国際コンペで英国在住の建築家ザハ・ハイド氏の作品に決まったが、JSCの試算で三千億円になることが判明。昨年五月の基本設計時には規模が縮小され、千六百二十五億円とされた。

## 2年9億円

### NPO調査 長期交渉で膨張

環太平洋連携協定(TPP)交渉会合に参加した国家公務員の海外出張旅費が、二〇一三年三月から一五年二月までの二年間で、少なくとも九億二百万円にのぼることが分かった。NPO「アジア太平洋資料センター(PARC)」(東京都千代田区)が、本紙が昨年公表した方法で行い、交